

地方独立行政法人神戸市民病院機構  
平成23事業年度の業務実績に関する評価結果  
【案】

平成24年8月

地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会

## 第1項 全体評価

### 評価結果及び判断理由

#### <評価結果>

#### **全体として年度計画及び中期計画のとおり順調に進捗している**

平成23事業年度の業務実績に関する評価については、●ページ以降に示すように、

- ・「市民に対して提供するサービスその他業務の質の向上」…A評価（順調に進んでいる）
- ・「業務運営の改善及び効率化」…A評価（順調に進んでいる）
- ・「財務内容の改善」…A評価（順調に進んでいる）
- ・「その他業務運営に関する重要事項」…A評価（順調に進んでいる）

と判断した。

以上の大項目評価等の結果に加え、法人が一丸となって中央市民病院の移転・開院を安全かつ円滑に実施するとともに、単年度資金収支について目標を上回る大幅な黒字を達成し、中期計画に掲げる安定した経営基盤の確立に大きく貢献していることや、地方独立行政法人化後も、引き続き救急医療の充実に努めるなど市民病院としての役割を果たしていることも踏まえ、「医療の提供及び市民・患者サービスの向上の面」、「人材の確保・育成の面」、「経営の面」における実績を総合的に考慮し、平成23事業年度の業務実績については「全体として年度計画及び中期計画のとおり順調に進捗している」とした。

#### <判断理由>

平成23事業年度は、中期計画の中間地点である3年目にあたり、中央市民病院は市全域の基幹病院として、西市民病院は市街地西部の中核病院として、地域医療機関との連携及び役割分担のもとで、市民の生命と健康を守るという役割を果たすとともに、地方独立行政法人のメリットを活かし、その業務実績を伸ばしてきた。

特に、中期計画の中でも大きな命題の一つである中央市民病院の移転・開院が安全かつ円滑に行われた。移転に際しては、中央市民病院では入院患者の安全な移送等のためのリハーサルや各部門におけるトレーニングを重ね、西市民病院では中央市民病院の移転期間中の全日24時間救急対応を実施するなど法人全体で取り組みがなされたことは高く評価できる。

また、両病院ともに救急医療体制の充実に努めたこと、西市民病院において小児科の診療体制を充実するなど、市民病院としての役割を適切に果たしたことも高く評価できる。

さらに、経営の面では、新中央市民病院の経営状況が非常に良好であること、西市民病院も地方独立行政法人化後3年間安定した業績であることから、結果として、平成23年度決算においては、中央市民病院の移転の影響を見込んだ法人全体の単年度資金収支の年度目標（15.1億円黒字）を大幅に上回る38.0億円の黒字を計上した。

このような平成23事業年度の実績は、地方独立行政法人化による柔軟で迅速な意思決定のもと、医療職をはじめとする積極的な人材確保による診療体制の充実、DPC<sup>\*1</sup>を活用した効率的な病床運営といった取り組みによるところが大きいと思われる。

両病院とも非常にうまく機能しており、地方独立行政法人化、中央市民病院のPFI手法<sup>\*2</sup>による再整備、新病院への移転・開院のすべてを着実に実施し、業務実績を伸ばしている。今後も、地方独立行政法人やPFI事業のモデル病院となるように努力されたい。

\*1 DPC

従来の診療行為ごとに料金を計算する「出来高払い」診療報酬請求方式とは異なり、入院患者の医療資源を最も投入した病気とその病状・治療行為をもとに厚生労働省が定めた1日当たりの金額からなる包括評価部分（投薬、注射、処置、入院料等）と出来高評価部分（手術、麻酔、リハビリ、指導料等）を組み合わせて計算する請求方式のこと。

\*2 PFI手法

平成 11 年に施行された「民間資金等の活用における公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI 法)に基づいてなされるもので、民間の資金やノウハウを活用し、公共施設等の設計・建設・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のこと

<大項目評価及び小項目評価>

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価					大項目評価
			5	4	3	2	1	
第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	22	31		2	29			A 順調に進んでいる
第 2 業務運営の改善及び効率化	12	14			14			A 順調に進んでいる
第 3 財務内容の改善	6	10		2	8			A 順調に進んでいる
第 4 その他業務運営に関する重要事項	2	3		2	1			A 順調に進んでいる
合計	42	58		6	52			

\* 評価項目の中で、「市民病院としての公的役割を果たす上での重要項目」及び「平成 23 年度計画重点項目」についてウェイトを 2 としている。

\* 小項目評価

- 5・・・年度計画を大幅に上回って実施。
- 4・・・年度計画を上回って実施。
- 3・・・年度計画を順調に実施。
- 2・・・年度計画を十分に実施できていない。
- 1・・・年度計画を大幅に下回っている。

\* 大項目評価

- S：中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）
- A：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる（すべての項目が 3～5）
- B：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる（3～5 の割合が 9 割以上）
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている（3～5 の割合が 9 割未満）
- D：中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある（評価委員会が特に認める場合）

全体評価にあたって考慮した内容

<主な取り組みや特色ある取り組み>

平成 23 事業年度は、主な取り組みや特色ある取り組みが下記のとおり行われた。

市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上については、中央市民病院では新病院の救急専用病床を 50 床に拡大し、西市民病院では 10 月から日曜日の 24 時間救急を開始するなど救急医療体制の充実を図ったほか、西市民病院において小児科の医師の確保をはじめ診療体制を充実し、小児救急輪番の当番回数も増やし、周産期センターを設置するなど患者数の増加につながった。

業務運営の改善及び効率化については、中央市民病院の院内保育所において体調不良児

対応型保育を開始したほか、事務職員・医療技術職員の資格取得支援制度の構築に向け骨子を策定するなど、優れた専門職の確保に努めた。

財務内容の改善については、医療職の積極的な確保による診療体制の充実、DPC<sup>\*1</sup>を活用した効率的な病床運営、手術室や医療機器の効率的な運用に取り組んだ。

PFI手法<sup>\*1</sup>による中央市民病院の再整備では、入院患者等の移送を安全かつ円滑に実施し、平成23年7月に新病院への移転・開院を行った。

#### ＜特筆すべき取り組み＞

小項目評価において「年度計画を上回って実施」となった、西市民病院における診療体制充実による『小児・周産期医療の充実』、資金収支黒字を目標より大幅に好転させた『安定した経営基盤の確立』、新病院への移転・開院を安全かつ円滑に実施した『PFI手法による中央市民病院の再整備』において、目標を上回る成果を上げたことは大いに評価できる。

#### \*1 PFI手法

平成11年に施行された「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)に基づいてなされるもので、民間の資金やノウハウを活用し、公共施設等の設計・建設・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のこと

## 評価にあたっての意見、指摘等

全体的な業務実績としては大変成果を上げており、理事長・院長以下、病院職員が努力していることが伺える内容となっている。

業務運営に関しては、患者の満足(CS<sup>\*1</sup>)はもちろんのこと職員のやりがい(ES<sup>\*2</sup>)を考え、職員のモチベーションが維持できるような仕組みづくりを行っていくことも考えてほしい。

経営に関しては、DPC<sup>\*3</sup>の分析やクリニカルパス<sup>\*4</sup>など診療情報による経営マネジメントが重要になる。現在は財務内容が好調であるが、それに甘んじることなく、診療報酬<sup>\*5</sup>改定の影響などの要因を除くとどれくらいの経営状況であったのか、今後の見込みを平準化したものと中期計画最終年度の目標数値を比較して、どうなるのか把握することが大切である。また、中央市民病院については、収益も増加しているとはいえ、経費比率が上がっており、特に固定費が増加していることから、経営的に分析しておく必要があるのではないかと思われる。

なお、今回、評価委員会で現地調査を行った西市民病院は、以前に比べてとても活性化し、職員の努力がそのまま経営に結びついていることを実感した。引き続き、地域に密着した西市民病院の良さを伸ばしながら事業を進めてほしい。

#### \*1 CS (Customer Satisfaction の略)

顧客満足度のことをいい、利用者が企業よりサービスの提供を受ける場合にどれ位の満足を感じることができるか、という考え方。医療現場においては、患者満足度のことであり、受けた医療に対してどのような点にどの程度満足できたかという患者の印象を表すもの。

#### \*2 ES (Employee Satisfaction の略)

CSに対比される概念であり、従業員の業務内容や職場環境、人間関係などに対する満足度のこと。

#### \*3 DPC

従来の診療行為ごとに料金を計算する「出来高払い」診療報酬請求方式とは異なり、入院患者の医療資源を最も投入した病気とその病状・治療行為をもとに厚生労働省が定めた1日当たりの金額からなる包括評価部分(投薬、注射、処置、入院料等)と出来高評価部分(手術、麻酔、リハビリ、指導料等)を組み合わせて計算する請求方式のこと。

#### \*4 クリニカルパス

入院患者に対する治療の計画を示した日程表。

#### \*5 診療報酬

保険診療の際に医療行為等について計算される報酬の対価のこと。診療報酬点数表に基づいて計算され、点数で表現される。